

Game Report

開催場所：九州国際大学 平野記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 10 月 2 日 (日)

試合時間：17:20~

主審：伊藤 彰二

副審：古後 宏和

東海大学九州	● 6 5	18	—1st—	16	○ 7 1	日本経済大学
		22	—2nd—	17		
		14	—3rd—	14		
		11	—4th—	24		

第 1 ピリオド

男子 1 部リーグ全日程最終試合、序盤から両チームの意地と意地がぶつかり合う。先制したのは東海大、# 2 長野が体制を崩しながらもシュートを決める。対する日経大はスクリーンを上手く使いミスマッチを生み出し、# 0 ニャンが連続得点を決める。主導権を奪われたくない東海大は、# 2 長野が堅実なゲームメイク。# 2 長野のアシストから # 7 林、# 8 佐竹がシュートを決め、両チーム一進一退の攻防を繰り広げる。終盤、東海大は素早いパス回しから速攻に持ち込み、# 2 長野が次々とレイアップシュートを決めていく。両チーム互角の戦いを見せた第 1 ピリオド、18-16 と東海大が 2 点をリードし終了。

第 2 ピリオド

開始早々、# 3 5 小野が 3 P シュートを決め、日経大が幸先の良いスタートを切る。対する東海大は、途中出場の # 2 3 趙がゴール下で奮闘。激しいリバウンド争いを制し、バスケットカウントを獲得。東海大に流れを呼び込む。勢いづいた東海大は、# 2 0 玉井、# 2 1 谷里の 3 P シュートが連続で決まり、日経大を突き放す。残り 3 : 22、日経大はタイムアウトを請求。これが功を奏し、日経大はタイムアウト後のオフェンスで # 9 山崎が 3 P シュートを決める。しかし、東海大も # 2 長野がすぐさま 4 点プレイを決め返し、日経大の追撃を許さない。40-33、東海大のリードは 7 点に広がり、第 2 ピリオド終了。

第 3 ピリオド

先手を取ったのは東海大。# 2 3 趙が速攻の先頭を走り、レイアップシュートを決める。日経大は # 0 ニャンにボールを集めインサイドから得点を狙うも、東海大の激しいディフェンスに阻まれ、シュートを決めることが出来ない。中盤、両チーム得点が入らない時間が続く。差を詰めた日経大は、残り 5 : 53、# 7 鄭をコートに戻す。スペースをもらった日経大 # 7 鄭は、ポストアップからターンアラウンドシュートを決め、ベンチの期待に応える。しかし終盤、東海大 # 7 林のシュートが冴え渡る。ミドルシュートを次々と決め、日経大を突き放す。54-40、東海大が 14 点をリードし、勝負は最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

勝負の第 4 ピリオド、主導権を掴んだのは日経大。# 9 山崎の 3 P シュート、# 3 1 矢野のバスケットカウントが連続で決まり、一気に点差を縮める。対する東海大も、# 2 長野が 3 P シュートを連続で決め、意地を見せる。しかし、日経大の勢いは止まらず、残り 5 : 33、# 9 山崎の 3 P シュートが決まり、日経大は第 1 ピリオド以来のリードを奪う。会場の大歓声を背に、さらに勢いが加速した日経大は、# 3 5 小野、# 5 野中が冷静な判断でシュートを決め、勝利に近づいていく。終了間際、東海大は # 2 1 谷里の 3 P シュートにすべてを託すも、日経大 # 3 1 矢野が見事にブロック。全てを出し切った日経大が、65-71 で激闘を制し、インカレへの切符を手にした。